

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

みんなで考えたい、子どものよりよい育ち③

～ Society 5.0 に生きる子どもたち～

Society 5.0とは、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続くもので、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータといった先端技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられていく新たな社会を指します。野村総合研究所は、2015年12月に、この先10～20年で日本の労働人口の約49%が就いている職業で人工知能やロボット等が代替することが可能との推計結果を発表しています。つまり、今ある職業の多くが不要になり、ロボットやAIと共存することが当たり前になるということです。



Pepper入学式の様子

日南町の子どもたちも、こうした未来を生きていくことになります。子どもたちには、どんな力が必要なのでしょう。ここでは、特に2つを取り上げたいと思います。

①主体的に学ぶ姿勢

今後必要になる職業能力は、「企画力」「創造力」「計画力」「判断力」とされています。こうした力を養うためには、自ら考え、判断することを繰り返し経験していく必要があります。学習においても、保護者や先生から言われたから勉強する、という受け身の姿勢ではなく、主体的に学ぶ姿勢が必要です。

②コミュニケーション力

他者と協働して問題解決を図る能力は、今後ますます重要となるでしょう。仕事で解決すべき課題の多くは、自分一人では解決できません。他者と課題について検討し、作業を計画・調整して実行するまでの過程で、コミュニケーション力は大変重要です。

今年度、日南町は鳥取大学、ソフトバンクと連携協定を結び、教育分野でも新たな取り組みがスタートしました。その一環として、2月4日、日南小学校に人型ロボットPepperがやってきました。今後は子どもたちがPepperを動かすプログラムを作るなど、「プログラミング教育」に活用されるほか、子どもたち自身が「どんな活用ができるか」を考え実践していくことが期待されています。そして、その過程で、主体性やコミュニケーション力をしっかり身につけてほしいと思います。

地域コーディネーターだより

1月に4年生以上の児童が大山でスキー教室を行いました。町内のスキー指導者のもと元気に滑走しました。4、5名で指導を受けたり、時には一対一で指導を受けたりしたようでした。そのおかげで全児童が、滑走出来るようになりました。レベルアップした結果です。さすが指導者だと感心しました。マナーもしっかり身に付きました。

すごく感激したことがありましたのでお伝えします。児童同士が教えたり、教わったりする様子が随所に見られました。その光景に素晴らしいと感じたと同時に感激しました。「自分さえ上手くなればいい」ではなく、仲間を大切にする気持ちの表れです。日南小学校は素晴らしい学校になります。

今年に入り本格的にコミュニティ・スクール制度導入に向けて動き出しました。講演会や地域の方たちとの意見交換会等様々な取り組みを計画しています。心の片すみでもいいですので子どもたちのことを気にかけていただくと、「僕たち私たちはみんなから支えられているんだ」と思うはずです。私も一担当者として地域の人に声をかけていきます。どうぞご理解をお願いします。「オールにちなん」です。

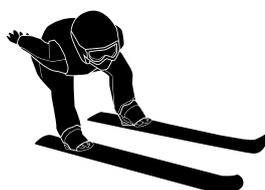
クイズ 「問題」 オリンピック編

1972年に開催された札幌冬季オリンピックのことです。古い話で申し訳ありません。日本が金・銀・銅のメダルを独占し、国旗ポールに3つの日の丸が上がりました。その競技とは？
3つの日の丸を見てものすごく感動した記憶があります。

①フィギアスケート

②70m級ジャンプ

③アルペンスキー



2月号の答え：③番 ペンホルダー

連絡先 教育委員会 82-1118 コーディネーター 荒金敏文 携帯080-5232-7712